# 千葉氏と小弓の合戦

15世紀になると上総国の豪族、武田氏が下総国に侵攻をはかり、上総国と下総国の境であった村田川付近で千葉氏の家臣であった小弓城主の原氏と戦いを繰り広げます。

当初、千葉氏の支援を受けた原氏が有利でしたが、武田氏が古河公方足利高基の弟義明をまねいて原氏の拠点である小弓城を攻撃しました。原氏は反撃しましたが、小弓城は落城し、義明が入城して小弓公方と名乗りました。小弓公方足利義明は、小弓城を拠点にして房総半島で勢力をふるうようになりましたが、次第に相模国の戦国大名後北条氏や古河公方と対立するようになりました。

足利義明　成田名所図会

足利義明は、足利政氏の子。武田氏に請われて原氏の小弓城を攻略し、小弓公方と称した。第一次国府台合戦に敗れて討死した。

小弓城跡

小弓城跡遠景

足利氏略系図（古河公方）

成氏－政氏－高基－晴氏－義氏

（小弓公方）義明

基頼